

町田市子ども発達支援計画行動計画
(2021～2023) (案)
～第二期障害児福祉計画～
意見募集実施結果

2021年3月
子ども生活部子ども発達支援課

町田市子ども発達支援計画行動計画

(2021～2023) (案)

～第二期障害児福祉計画～

意見募集実施結果

「町田市子ども発達支援計画行動計画（2021～2023）（案）」の策定にあたり、下記のとおり意見を募集いたしました。貴重なご意見をお寄せいただきありがとうございました。

1. 募集期間

2020年12月15日～2021年1月14日

2. 意見の募集方法

- 「広報まちだ12月15日号」に実施について掲載
- 町田市ホームページに行動計画（案）の全体版および概要版の資料を掲載
- 以下の場所で資料閲覧および配布

子ども発達センター、市政情報課・広聴課・障がい福祉課（市庁舎1階）、子ども生活部各課窓口（市庁舎2階）、子ども創造キャンパスひなた村、子どもセンター（つるっこ、ぱお、ただON、まあち）、各地域子育て相談センター、大地沢青少年センター、中央学童保育クラブ、つるっこ学童保育クラブ、男女平等推進センター（町田市民フォーラム3階）、各市民センター、各連絡所、各市立図書館、町田市民文学館、生涯学習センター、町田市保健所（中町庁舎）、健康福祉会館、教育センター、ひかり療育園、各障がい者支援センター

3. 寄せられたご意見

6名の方から19件のご意見をいただきました。ご意見の項目別内訳は、以下のとおりです。

項目		件数
基本目標Ⅰについて	子どもの特徴に応じた療育の充実について	2件
	子どもの成長に合わせた継続的な支援について	2件
基本目標Ⅱについて	「自分らしい」子育てへの理解と支援について	1件
	不安や悩みに寄り添った教育・保育サービスの充実について	3件
その他について		11件

4. ご意見の概要と市の考え方

ご意見の概要とそれに対する市の考え方は次のとおりです。

なお、取りまとめの都合上、いただいたご意見は要約して掲載しています。

ご意見の概要と市の考え方

【Ⅰ-2-(1)子どもの特徴に応じた療育の充実】について

番号	ご意見の概要	市の考え方
1	子ども発達センターの民間活力導入について、認可通園部門をすべて民営化するというのか。また、民営化で療育の質が低下するということはないか。選定についてはどのような方法を予定しているのか。	子ども発達センターにつきましては、認可通園部門のすべての事業に民間活力を導入し、より良いサービスを提供していきたいと考えています。選定方法については現在検討を進めています。
2	子ども発達センターの民間活力の導入について、障がい児支援につながる機器の企業を誘致し、障がい児の教育・生活を科学技術で支援して欲しい。	民間活力の導入につきましては、認可通園部門により良いサービスを提供していきたいと考えています。 ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。

【I-2-(3)子どもの成長に合わせた継続的な支援】について

番号	ご意見の概要	市の考え方
3	小学校の通常学級に就学後、支援が得られずにつまづくことが想定されるお子さんに対して支援が手薄と感じる。幼稚園や保育園が子ども発達支援課や教育委員会との連携を取り、支援すべきではないか。	支援が必要なお子さんについて、「町田市立小学校・幼稚園・保育園・子ども発達センター・特別支援学校連絡協議会」にて情報共有をしておりますが、より一層努めて参ります。
4	「町田市立小学校・幼稚園・保育園・子ども発達センター・特別支援学校連絡協議会」について、小学校でどのように過ごす想定なのか、スタートカリキュラムを保育園や幼稚園に事前に示したほうが連携が取りやすいと思うがどうか。	カリキュラムを事前に示すことはしておりませんが、入学前に「町田市立小学校・幼稚園・保育園・子ども発達センター・特別支援学校連絡協議会」にて情報共有に努めております。ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。

【基本目標Ⅱ子どもが安らいでいる家庭があり、家庭が地域とつながっている】

番号	ご意見の概要	市の考え方
5	難聴児の療育について子ども発達センターに相談したところ、難聴児の療育の受け入れ場所が少ないように感じた。聴覚障害の相談・療育体制の充実を望む。	難聴児の受け入れについては、相談しやすく療育を受けやすい環境を整えてまいります。ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。

【Ⅱ-1-(2)「自分らしい」子育てへの理解と支援】について

番号	ご意見の概要	市の考え方
6	子ども発達センターへ親子で通園するケースについて、親が疾病・障がい・ひとり親では親の負担が大きいため支援の充実を求める。	親子療育事業は発達に支援が必要な子どもの特徴に適した家庭での接し方などを理解するため、親子で共に参加する事業です。事業への参加が難しい場合は、個別の相談を受けております。ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。

【Ⅱ-2-(1)不安や悩みに寄り添った教育・保育サービス等の充実】について

番号	ご意見の概要	市の考え方
7	初めての社会生活に馴染めない、親離れ出来ない、親が我が子の対応に困っているケースについて、保育園、幼稚園の担任先生から子ども発達センターへ相談できるような仕組みがあれば、専門家により相談・アドバイスによる信頼度、安心感は違ってくると思う。	保育園、幼稚園の先生方への支援につきましては、出張相談の利用をご案内しております。
8	子ども発達センターで実施している、気になる子に対する出張相談について、保育所からの相談を受け付けてもらえなくなった。子ども発達センターでは、保育所等訪問支援の利用を案内しているが、それだけでは厚生労働省の「児童発達支援ガイドライン」にある、「子供の最善の利益」の観点が見えて落ちているのではないか。	<p>発達に支援の必要な子どもが地域の集団の場で適切な配慮のもとに過ごすことができるように、出張相談と保育所等訪問支援があります。出張相談は、保育園・幼稚園等から依頼を受けて訪問し先生方に対する支援を行っています。</p> <p>保育所等訪問支援は、保護者の依頼を受けて、保育園・幼稚園等に訪問支援員が訪問し、子どもへの支援や訪問先に相談・助言を行っています。</p> <p>特定の子どもに対する具体的な相談につきましては、保育所等訪問支援を保護者の了承のもとご利用ください。</p>

【その他】について

番号	ご意見の概要	市の考え方
9	障がい児スポーツ教室は、希望者は全員参加できるのか。応募の時期が全くわからない。親がプールに入らなくても大丈夫なのか。子どもと常に一緒にいるので親も息抜きさせてほしい。	障がい児スポーツ教室は、毎年8月頃の広報まちだおよびホームページに案内を掲載し募集しております（希望者が多い場合抽選あり）。プール内は指導員等により安全を確保し、保護者はプールサイドでの見守りとなります。

10	病院に、障がい者の専門医を配置してほしい。周囲の理解を得ることがなかなか難しく、病院になかなか行けない。真剣に考えてほしい。	いただいたご意見につきましては地域における医療の提供体制に関するものとして「まちだ健康づくり推進プラン（町田市保健医療計画）」を所管する部署に共有させていただきます。
11	日常生活の中で車は必須だから、車の購入時に補助金を出してほしい。	ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。
12	国の施策として、企業が障がい者の雇用について取り組みを進めているが、市役所からもっと積極的に障がい者を採用すべきである。	ご意見として承り、今後も引き続き、市役所全体の雇用率向上に向けて、障がい者雇用の推進に取り組んで参ります。
13	グループホームを増やしてほしい。	いただいたご意見につきましては障がい者福祉の提供体制に関するものとして「町田市障がい者福祉計画」を所管する部署と共有させていただきます。
14	働く場所を増やしてほしい。	いただいたご意見につきましては障がい者福祉の提供体制に関するものとして「町田市障がい者福祉計画」を所管する部署と共有させていただきます。
15	医療面での支援について、具体的に考えてほしい。	いただいたご意見につきましては、地域における医療の提供体制に関する部署と共有させていただきます。
16	日常生活での移動方法について、移動支援以外の方法を考えてほしい。	いただいたご意見につきましては障がい者福祉の提供体制に関するものとして「町田市障がい者福祉計画」を所管する部署と共有させていただきます。
17	親なきあとの子の支援について考えてほしい。	いただいたご意見につきましては障がい者福祉の提供体制に関するものとして「町田市障がい者福祉計画」を所管する部署と共有させていただきます。

18	子ども発達支援計画行動計画を読んだが、あまりにも具体性に欠け、ただ文章を読んでいるだけという印象を受けた。	市民の方に内容が伝わる記述に努めて参ります。
19	子ども発達支援計画行動計画は、子どもの事をわかっていない方達で作成しているから奥深くない。実際の子育てはとても大変で、机の上で話しあっているようでは何も伝わらない。	市民の方に内容が伝わる記述に努めて参ります。